

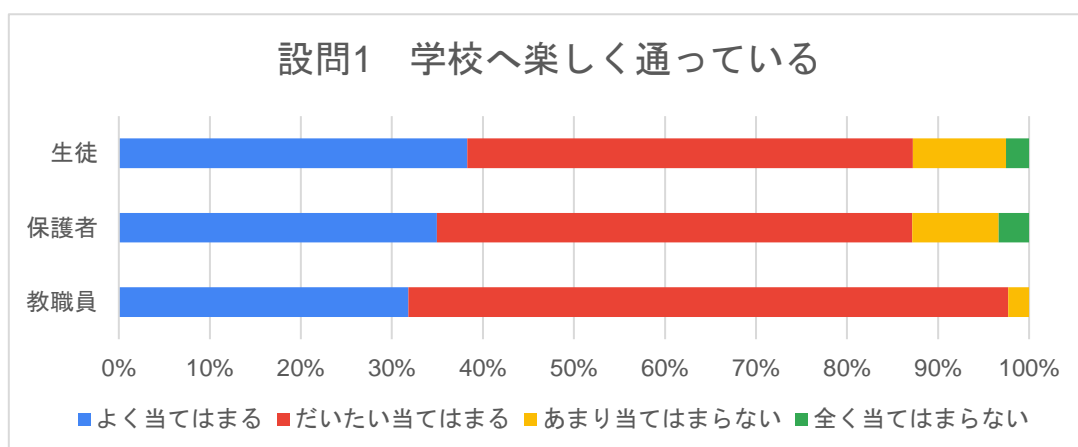
## 令和6年度学校評価アンケートの集計結果について

毎年、本校の教育活動を見直し、次年度以降の教育計画に生かすことを目的として、生徒・保護者・教職員を対象に学校評価アンケートを行っています。今年度も12月(一部1月)に実施いたしました。ご協力くださった皆様、ありがとうございました。

その集計結果を、所感とともにお知らせいたします。

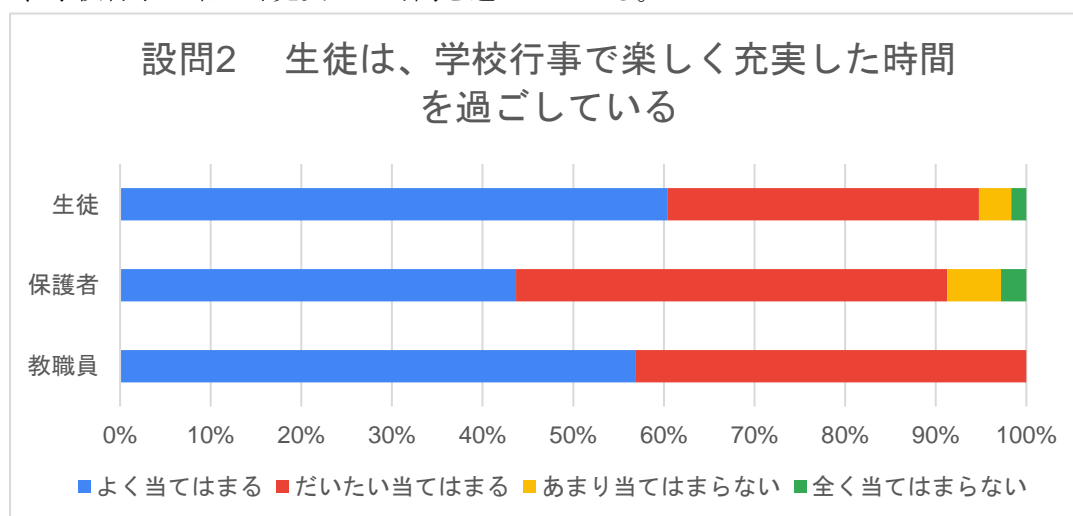
結果と分析を、今後の学校運営に役立てていきます。

### 1. 生徒は、学校へ楽しく通っている。



生徒たちが「学校が楽しい」「明日も学校に行きたい」と思えることが、私たち教職員の願いです。全ての生徒にとってそうであることを目指して、一人一人の生徒と向き合い寄り添い、生徒の声で学校をつくりたいと思っています。中学生は、学習、友人関係、自分自身についてなどさまざまな悩みを抱えています。大人が助言したり支援したりしつつも、問題や課題を自ら解決していく力、自分自身で自分が心地よいと感じる居場所をつくる力も付けていけるよう、導いていきたいと思っています。

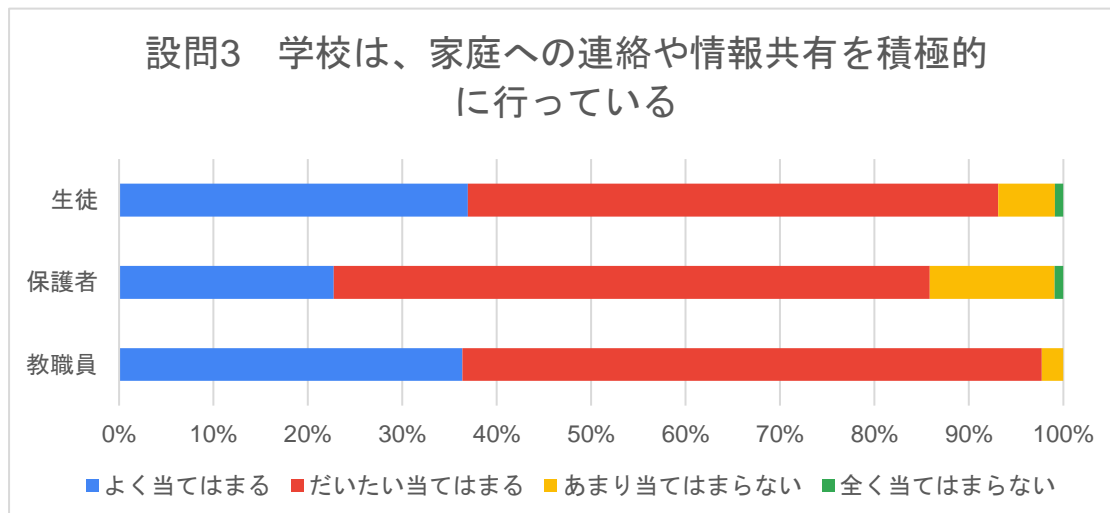
### 2. 生徒は、学校行事で楽しく充実した時間を過ごしている。



生徒たちは、全校行事のほか学年行事、生徒会行事などをおおいに楽しんでいるように見受けられます。日頃の生活の中での姿とはまた少し違った一面を見せたり、他の人のそうした姿を発見して驚いたり認めたりしています。行事は遊びではなく、学びの場です。しかし「自分を楽しませること」は人生の楽しみであり、行事で学んでほしいことです。生徒たちは、「どうしたらもっと楽しくなるのか」を考え

て計画・実行しています。

### 3. 学校は、家庭への連絡や情報共有を積極的に行っている。

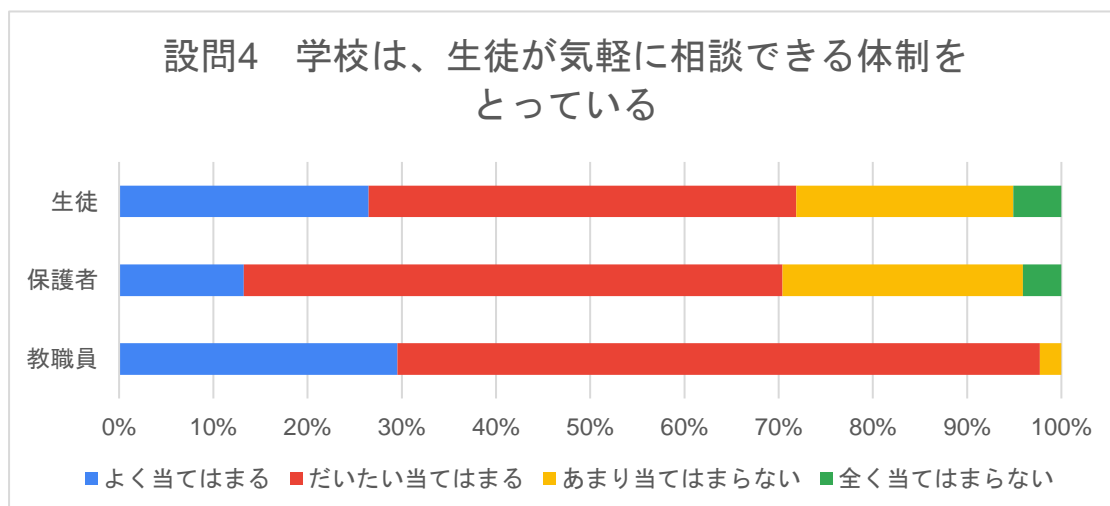


北中学校ホームページに学校や各所からの文書をアップロードしたり、eメッセージで連絡をお伝えしたり、という方法での学校からの発信は、この2年間で定着しました。一日に何度もeメッセージをお送りすることがあり、煩雑に思われることもあるかもしれませんが、ぜひお目通しください。

北中学校ホームページには、学年通信のほかに「学校の様子」コーナーがあり、生徒たちの日々の活動の様子をタイムリーにご覧いただくことができます。修学旅行や野外教育活動では、活動進行中の現地の様子をお知らせしました。

P T Aでも、学校やP T A活動の様子をお伝えする広報紙「くすのき」を年間2号発行しています。毎年1号目は教職員の紹介、2号目はくすのき祭での生徒たちの活躍の様子とP T A活動の紹介です。昨年度の2号に対して全国P T A広報紙コンクールで佳作をいただくという快挙もあり、P T A広報部の皆様の活躍に感謝すると同時に、すばらしい北中学校広報紙を、多くの方々にご覧いただきたいと思いました。

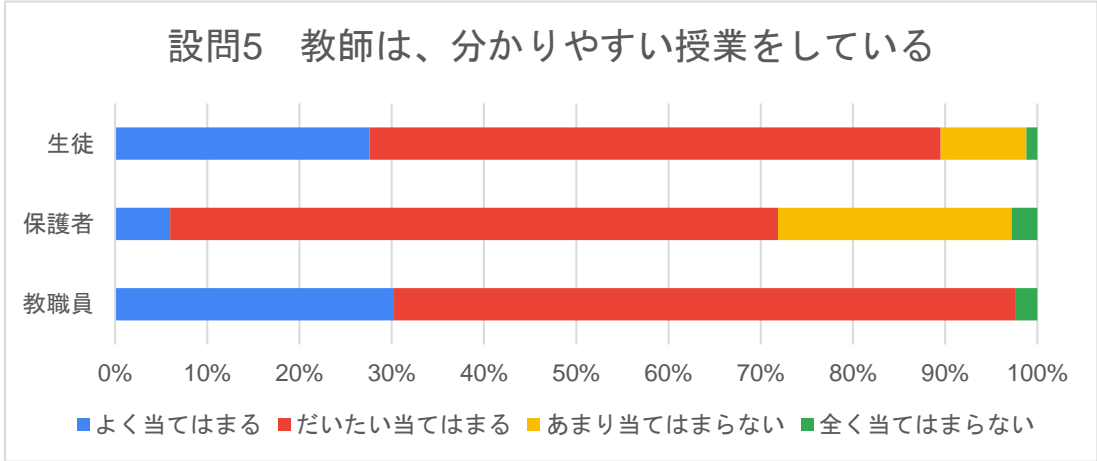
### 4. 学校は、生徒が気軽に相談できる体制をとっている。



学校には、教員以外にもさまざまな立場の職員がいます。中でもスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーは、生徒や保護者の皆様と直接お話をさせていただくことがあり、心の重荷を軽くしたり、悩みや困りごとの解決に向けて支援したりする役割を担っています。今年度は、生徒の悩みや困りごとについて教員が相談に乗ることに加え、そうした役割の職員に生徒が直接相談する件数が増えました。これは教員が生徒の手を離してしまうということではなく、専門家としての見地からのアドバイスの必

要性、もしくは教員以外の人にも相談してみたいという生徒からのニーズに応えたものです。生徒と教員は常につながりながら、学校や生徒を支える人材を活用することで、多様化・複雑化する課題の解決にあたっています。

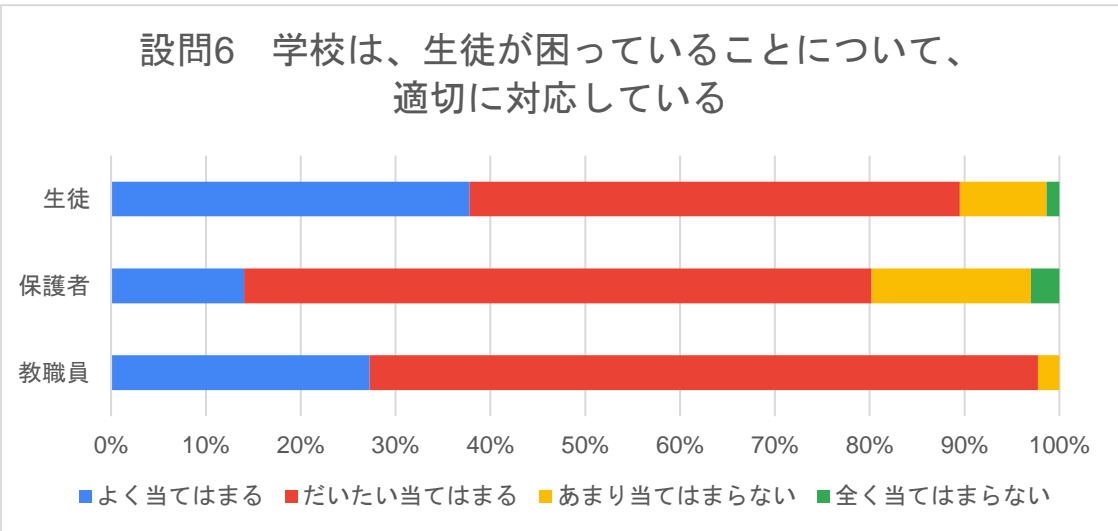
5. 教師は、分かりやすい授業をしている。



生徒が「分かる」「できる」喜びを感じられる授業であること。新しい知識や技能を身に付けたり、自分の思いや考えを表現したり、自ら課題を解決したりするのは楽しいと感じられる授業であること。それを目指して教員は研修や教材研究を重ねています。生徒同士が協働して取り組む部分と、一人でじっくり考える部分をバランスよく授業に取り入れたいと考えています。

今、学校からたくさんの宿題を出すことはありません。生徒が自分にとって必要な学習を選び、取り組むことを目指しています。しかし、基礎的な学力を身に付けることは大切で、授業の中で小テストや反復学習を通して定着を図っています。

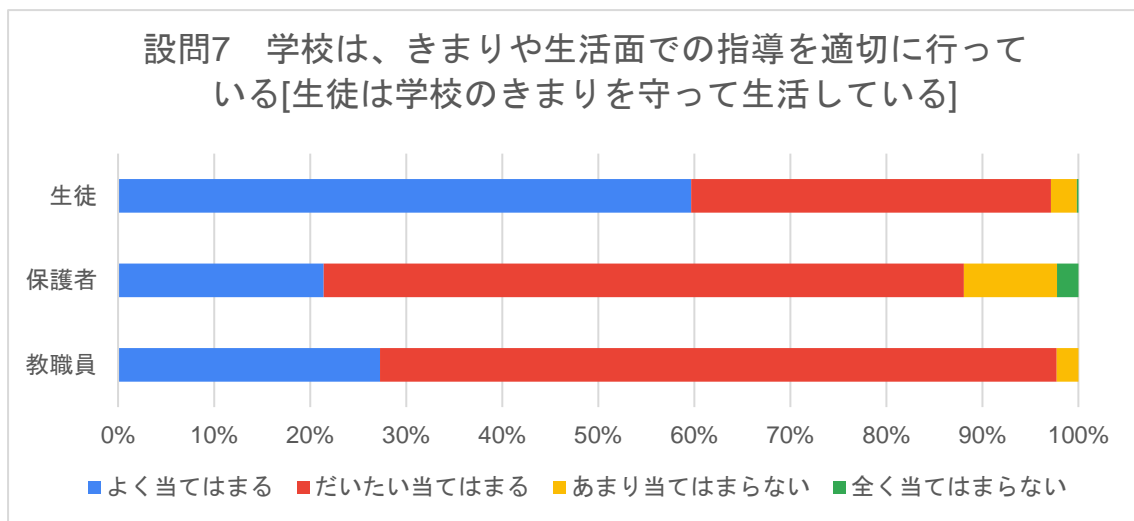
6. 学校は、生徒が困っていることについて、適切に対応している。



学校は生徒が困っていることに対して動いてくれている、と多くの生徒が感じています。

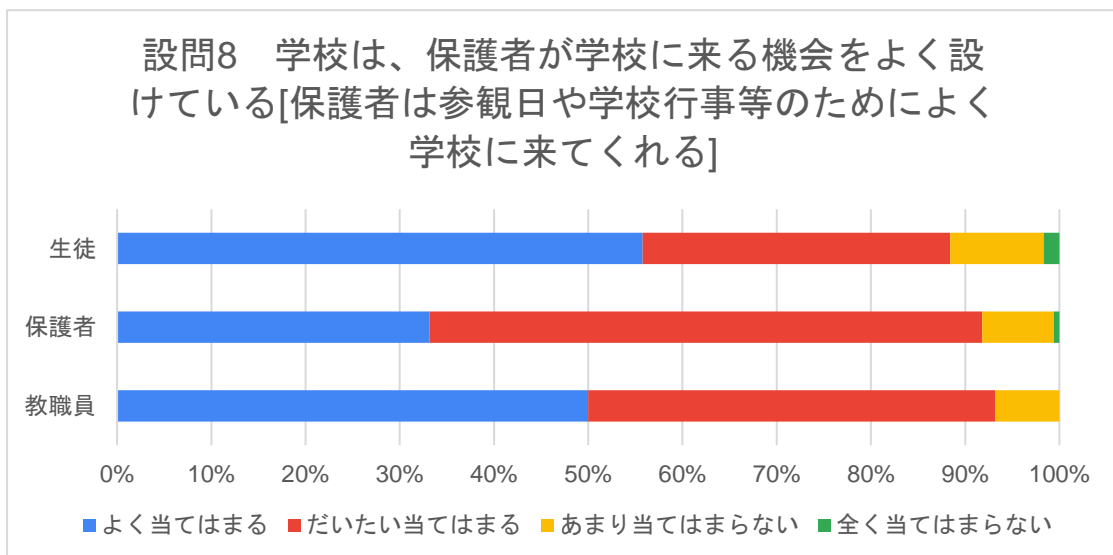
その一方、十分でないと感じている生徒や保護者の方もいます。日頃取り組んでいる生徒と担任とのやりとり帳(デイリーライフ)や学期に一度実施している教育相談アンケートなど、直接言いに来なくても困りごとを教員に伝えられるシステムを活用しつつ、生徒の様子の変化を見取ったりこまめに声をかけたりすることを、今後も行っていきます。

7. 学校は、きまりや生活面での指導を適切に行っている[生徒は学校のきまりを守って生活している]。



「当たり前のことを当たり前に行う」ということをスローガンにしている学年もあります。きまりを守ることは当然のことであって、そうするのが普通。きまりを守らないですり抜けようとする人がいたらそれを見過ごしたりしない。生徒たちにはそういう習慣が身に付いています。失敗してしまうこともあります。自分のしたことを認めることができる素直さをもっています。学校では、理由の分からないきまりを押し付けるのではなく、なぜそのきまりが大切なのかを考えさせる指導をしています。

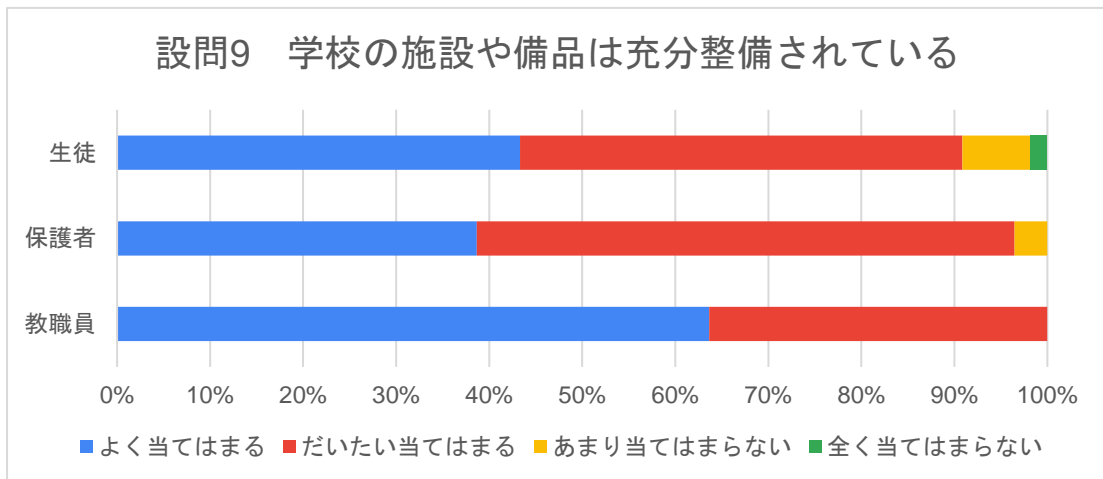
8. 学校は、保護者が学校に来る機会をよく設けている[保護者は参観日や学校行事等のためによく学校に来てくれる]



くすのき祭をはじめ授業公開、個人懇談会、進路説明会等、保護者の皆様にはお忙しい中ご足労いただきありがとうございます。思春期の子どもなので、家庭では保護者に「来てほしくない」という態度を取るかもしれませんが、学校では、保護者が来てくれるか気にしていたり、楽しみにしていたりする姿が見られます。

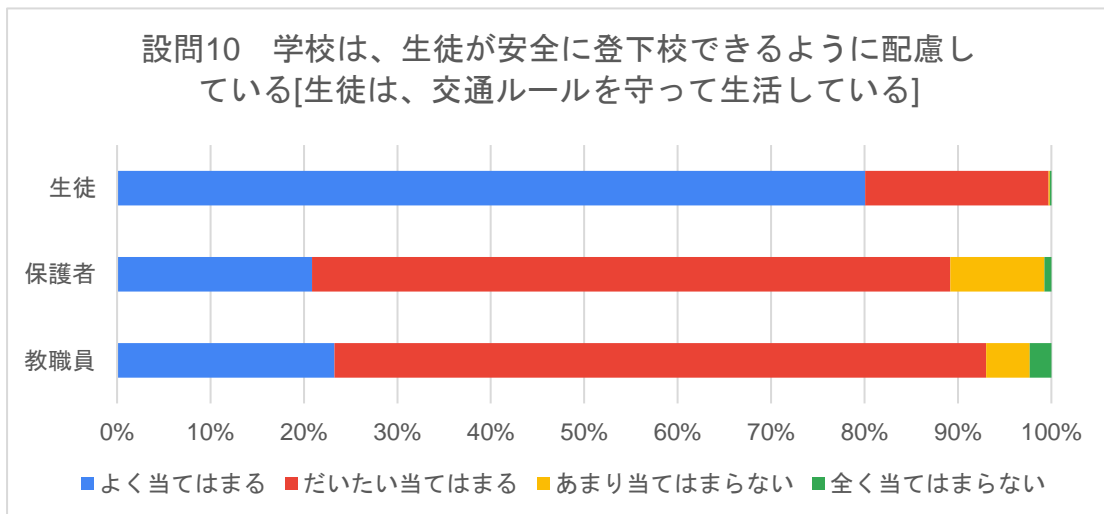
近年生徒数が増加し、本当でしたら保護者の方にもご覧いただきたい行事もスペースの関係で難しい、ということがあります。試行錯誤しながらなるべくご覧いただけるように考えていきたいと思っております。

9. 学校の施設や備品は充分整備されている。



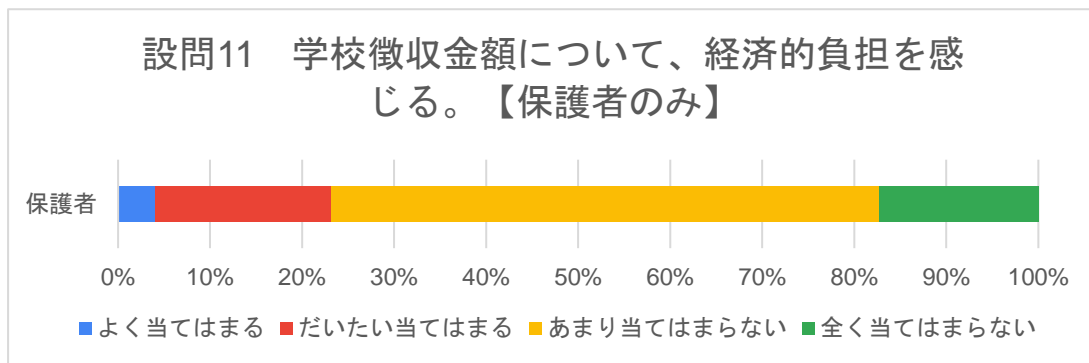
本校の生徒は日頃熱心に清掃活動に取り組んでいます。そのおかげで、学校をきれいに保つことができています。しかし、本校も今年度で創立12周年。恵まれた施設・設備ではあるものの、少しずつ破損や故障が出てきています。生徒が安全・安心に学校生活を送ることができるよう、教職員が日常的に点検を行い、修繕や交換を行っています。

10. 学校は、生徒が安全に登下校できるように配慮している[生徒は、交通ルールを守って生活している]。

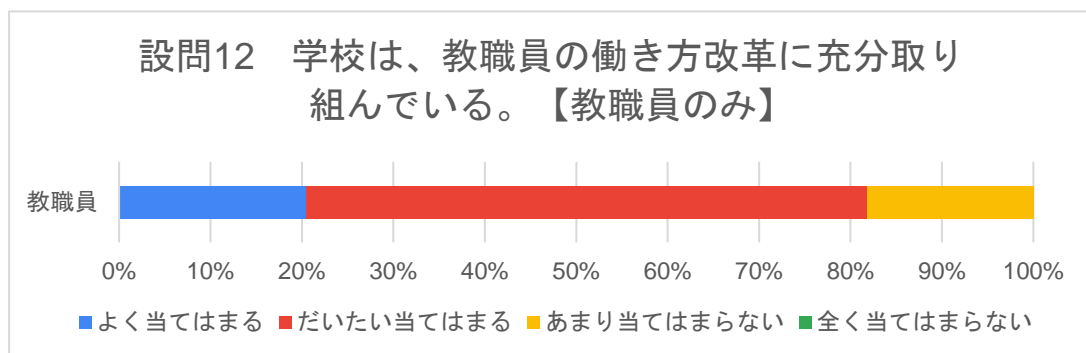


生徒は、交通ルールを守って生活している、と感じています。しかし、近隣住民の方々から本校生徒の登下校についてご心配のお声をいただくことがあります。道いっぱいに広がって歩いていて危険、友達とのおしゃべりに夢中で車、自転車、歩行者に気付いていない、などです。学校では定期的に教員が通学路に立って指導することをはじめ、朝会や各学級で適宜指導しています。自分の安全を確保しつつ、他者の安全も気遣うことができる北中生であってほしいと思います。

11. 学校徴収金額について、経済的負担を感じる。【保護者のみ】



12. 学校は、教職員の働き方改革に充分取り組んでいる。【教職員のみ】



長久手市では、今年度9月から地域移行部活動が始まりました。これにより、教員の土日負担軽減が進んでいることを実感します。教員の心身の健康が生徒たちのための充実した教育活動につながるよう、環境を整えていきたいと思えます。

昨年度の学校評価アンケートと比較して、大きく変化した項目はありませんでした。生徒たちの学校での落ち着いた生活ぶり、保護者の皆様の学校へのご理解とご協力、地域の皆様の見守りにより、このような結果となっているものと思われます。

しかし、各項目とも「十分でない」と感じている生徒、保護者の方がいらっしゃいます。その原因は何なのかを探り、改善に努めたいと思えます。日々の授業を充実させ、生徒の気持ちに寄り添って、生徒にとって思いやりあふれるあたたかい学校づくりを進めてまいります。

今後とも北中学校を温かい目でお見守りください。そして子どもたちのために、ともに手を携えてまいります。